

化学工学会 第 51 回秋季大会
＜[材料・界面部会シンポジウム] 材料・界面討論会 ～材料創製と界面研究の最先端～
(口頭発表部門)＞ 報告書

オーガナイザー

武井 孝行(鹿児島大学)(文責)

大橋 秀伯(東京農工大学)

土岐 規仁(岩手大学)

山本 徹也(名古屋大学)

2020 年 9 月 24～26 日にオンラインで開催された化学工学会第 51 回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計 29 件の講演発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9 月 24 日 9:00～17:40 22 件(招待講演 2 件を含む) 9 月 25 日 13:00～15:20 7 件
会場	オンライン
聴講者数	各発表平均約 40 名
招待講演	『超臨界二酸化炭素相と界面を利用した材料プロセス』 下山 裕介氏(東京工業大学) 『リサイクル炭素繊維複合樹脂の開発』 村上 総一郎氏・鈴木 一孝氏(岩手県工業技術センター)

その他:今回は初のオンラインでの大会であり、一部の発表の冒頭で発表者の声が聞こえないなどの通信の問題が生じたが、それ以外は特に大きな問題もなく無事終了することができた。なお、一般講演は、これまでの部会シンポジウムのとおり、講演 12 分、質疑 8 分という討論を重視するスタイルを踏襲した。また、交流会は中止とした。来年度の秋季大会もオンラインでの開催となる可能性があるため、今大会の改善案について部会内で十分な議論を交わしたい。最後に、口頭発表において座長をお引き受け頂いた方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

以上